

未来の農業者に夢と希望を



上郷小学校2年生が大型のコンバインでの作業を見学、児童だけでなく教職員も注目(10月4日)

10月4日、上郷小学校の2年生が「稲刈りの見学」にやってきました。「地域のことを知る」さまざまな学習の一つとして農業を学んでいるのです。6月には田植え、そして秋には収穫の「稲刈り」、実際の作業を見ることとなります。

最新型の農業機械が、どのようなものか、どんな作業をするのか、児童にとっては大変興味のある学習となります。

児童の多くは農作業を見たことにはないはずですが、彼らは農業にどんなイメージを持っている

のでしょね。

やがて彼らが成長して農業に取り組み時代があるかも知れません。あるいは全く新しい考えで、びつくりするような農業を作ってくれるかもしれません。そのためには農業に対して、夢や希望が持てるような学びが必要です。食物生産は、私たちの暮らしを支える大事な仕事だと伝えたいですね。

● 長寿命化関連交付金の大幅減額 ●

農事組合法人八方原の稲作作業はほぼ終わりました。これから麦作が始まります。環境向上活動は、営農作業が

ひと段落してから、施設の改良などの事業が本格化します。

交付金の内示額が示され、その指示に基づいて所定の事務処理を進めることとなります。

多面的機能支払制度の2期目の5年となりますが、次第に制約が加わってきました。新たな組織合併を行うなど、事業の再編に取り組むところは、満額の内示がされますが、従来の体制のままの事業展開については、長寿命化関連の交付金は大幅に減額されることになりました。

前年比30%減という状況になりそうです。厳しい状況ですが最善を尽くします。

ご近所に迷惑をかけないように正しくペットと付き合しましょう

ペットを飼う方のマナーの向上を訴える方の苦情が、自治会に相次いでいます。小紙でも何度か、関連記事を掲載していますが、今一度、ご自分の身の回りの犬や猫の飼い方に、ご配慮をお願いいたします。



自治会長は作業の範囲を決めて、記録写真を撮影管理。会計さんは参加者への配慮、感謝です。

市道の除草清掃にひと汗

10月27日、市道八方原森下線を中心にした除草清掃作業が行われました。毎年2回実施するこの作業は、山口市から委託を受けて行う有償事業です。毎回多くの方がこの作業にご参加くださいます。今回も50人を超える方が作業に参加して下さいました。

自治会は、各班ごとの参加者、道具の有無などを考慮して、受け持ち区間を決めます。各班の作業時間がおぼろじようになるようにするのは、簡単ではありませんが、長年の経験で毎回、妥当な作業量となっているはず。参加の皆様、お疲れ様でした。

新しい防災体制を作ろう

9月28日、地域づくり協議会主催の「自主防災組織の説明会」行われました。これは、従来の消防組織では、さまざまな緊急事態に対応できないのではないかとという観点から、地域の防災全般に備える体制づくりを目指すものです。

実際に消防組として活動している地区も少なくなっています。南消防署と市消防団小郡方面隊3分団が、殆どの火災への対応を行い、消防組は活動の場は殆どないとい



うのが現状です。

一方で、地震、台風、大雨など毎年のように重大な災害が日本各地をおそいます。今年9月から10月にかけての台風15・19号、25日の大雨など、関東から東北にかけては惨憺たるありさまです。おおくの尊い命が奪われてしまいました。こうした災害にはなすべはないのでしょうか。

上の図をご覧ください。これは山口市が提供している「オープンマップ」というインターネット上の地図情報です。場所を指定して、条件を入れると、分かっている状況が示されます。当地区の土砂崩れ予測を表示したのがこの

やはり大会には参加しよう



たった2回の練習で、目覚ましい成長。ホームランを飛ばした林州也選手に特別賞

10月20日、小郡地域スポーツ大会が行われ、八方原自治会ではソフトボールに参加しました。

数年前には最強ブロックでの優勝もありましたが、この最近に参加すらしていない状況でした。大会に備えて、2度ほど練習をしましたが、ボールが手につかないような状態でした。

大会当日は有力チームの「ヴェルコリーナ」と対戦し、奮闘しましたが大差で敗れました。

敗れはしましたが、大会に参加できたことは、地域のために意味のあることだったと思われます。

図です。

私たちの地区の東側はかなり危険度が高い場所であることが分かります。今までは何もなかったとしても、次の雨で何も起こらないという保証はないということです。

災害が起こった時に、まず命を守る行動を起こし、その後に起こるさまざまな事態に対応する地域の体制が「自主防災組織」です。

これから自治会が消防組と話し合いながら、この地域に相応しい体制を考えていく必要があります。今後、いろいろな機会を捉えて、話し合いをしてまいりましょう。